

2021年度 調査結果（2020年8月発行）

外国人留学生の就職活動状況

新型コロナウイルスの影響により、2021年卒者の就職戦線は大きな混乱が生じたが、外国人留学生の就職活動も大きな影響を受けている。ディスコではキャリアス就活 2021 に会員登録している外国人留学生を対象に、職業観や就職活動状況などを調査した。比較可能なものに関しては、国内学生（日本人学生）や海外の大学で学ぶ日本人留学生の調査データを引用しながら分析する。

【主な調査内容】

| | |
|---------------------------------|---------------|
| 1. 現在の日本語力 | ・・・・・・・・ P 2 |
| 2. 就職したい企業の種類 | ・・・・・・・・ P 3 |
| 3. 日本での就職を希望する理由と不安に感じる点 | ・・・・・・・・ P 3 |
| 4. 日本企業に対するイメージ | ・・・・・・・・ P 4 |
| 5. 就職したい企業の規模と志望業界 | ・・・・・・・・ P 5 |
| 6. 就職先企業を選ぶ際に重視する点 | ・・・・・・・・ P 6 |
| 7. 新型コロナによる就職活動への影響 | ・・・・・・・・ P 7 |
| 8. 就職活動開始時期 | ・・・・・・・・ P 8 |
| 9. 就職活動量 | ・・・・・・・・ P 8 |
| 10. 7月時点の内定状況 | ・・・・・・・・ P 9 |
| 11. 就職活動の難易度 | ・・・・・・・・ P 9 |
| 12. 企業に評価してもらいたいこと | ・・・・・・・・ P 10 |
| 13. 就職活動の情報源 | ・・・・・・・・ P 10 |
| 14. 企業研究をする上で必要な情報／もっと発信してほしい情報 | ・・・・・・・・ P 11 |
| 【参考】新型コロナによる留学生活への影響 | ・・・・・・・・ P 12 |

《調査概要》

調査対象：2021年3月卒業予定の外国人留学生（現在、大学4年生・大学院修士課程2年生）
 調査方法：インターネット調査法
 調査期間：2020年7月3日～7月19日
 サンプル：キャリアス就活 2021 に登録している外国人留学生 2,849 人

回答者の属性 単位：人

| | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 文系 | 260 | 大学院 | 204 | 国公立 | 142 |
| 理系 | 83 | 学部 | 139 | 私立 | 201 |
| 合計 | 343 | 合計 | 343 | 合計 | 343 |

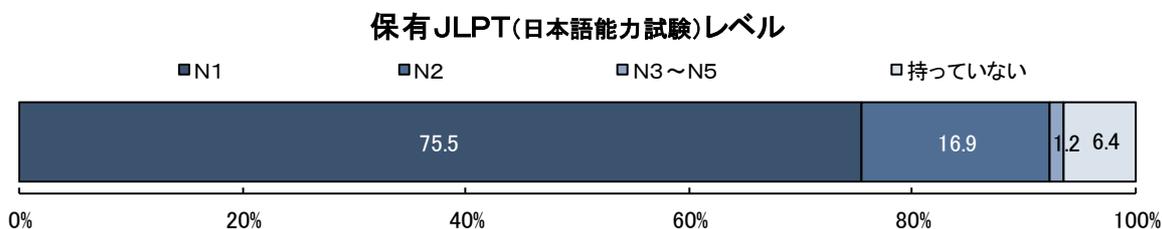
●出身国・地域

| 中国 | 韓国 | 台湾 | 東南アジア | その他アジア | ヨーロッパ | 北米 | 南米 | その他 | 合計 |
|-----|----|----|-------|--------|-------|----|----|-----|-----|
| 238 | 27 | 19 | 40 | 11 | 4 | 1 | 1 | 2 | 343 |

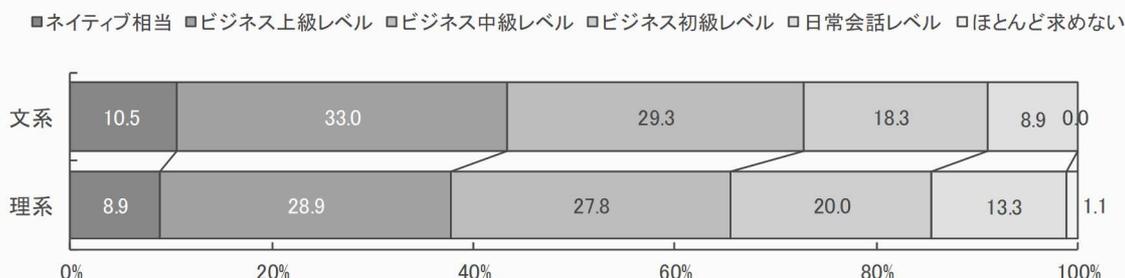
※国内学生の調査結果は「キャリアス就活 2021 学生モニター調査」（2019年11月、2020年1月、3月、7月調査）より
 ※日本人留学生の調査結果は「海外留学生の就職活動に関する調査結果」（2020年4月発行）より

1. 現在の日本語力

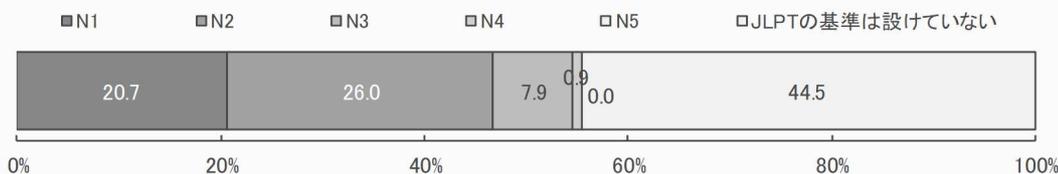
はじめに、現在の日本語力について尋ねた。「ネイティブレベル」(18.1%)と「ビジネスレベル」(59.8%)を合わせて、ビジネスレベル以上の日本語を話せる外国人留学生は約8割(計77.9%)。JLPT(日本語能力試験)のレベルについては、最高レベルである「N1」を保有している人は7割強(75.5%)。他方、「持っていない」人は1割に満たない(6.4%)。企業が求める日本語コミュニケーションレベルやJLPTの入社基準に達している外国人留学生はかなり多い。



【参考】 企業が外国人留学生の内定時に求める日本語コミュニケーションレベル



外国人留学生採用時のJLPTの入社基準



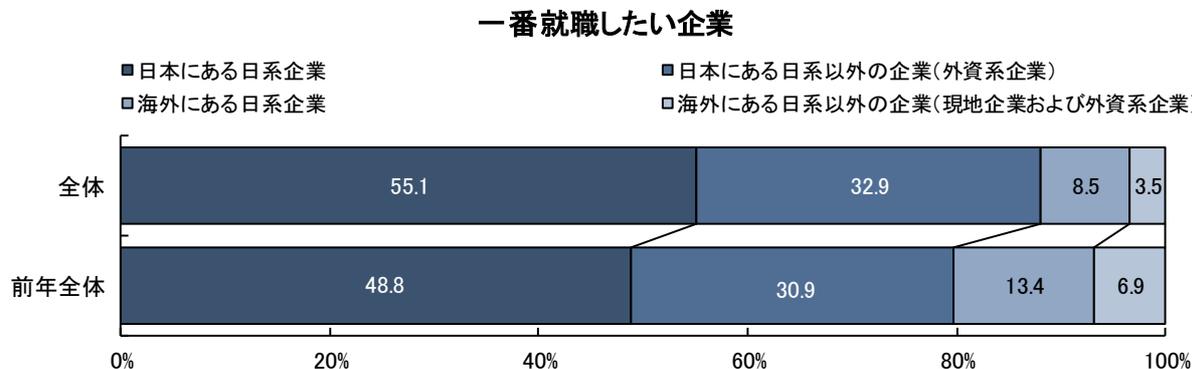
※「外国人留学生／高度外国人材の採用に関する企業調査」(2019年12月)

■ JLPT(日本語能力試験)とは？

- 日本語を母国語としない人の日本語能力を測定し認定する試験。
- 【N1】幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。
- 【N2】日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。
- 【N3】日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。
- 【N4】基本的な日本語を理解することができる。
- 【N5】基本的な日本語をある程度理解することができる。

2. 就職したい企業の種類

卒業後に就職したい企業は「日本にある日系企業」が最も多い（55.1%）。「日本にある外資系企業」（32.9%）と合わせると、卒業後も日本で働きたいと考えている外国人留学生は、9割近くに上る（計88.0%）。前年調査（計79.7%）と比較すると10ポイント近く増加した。

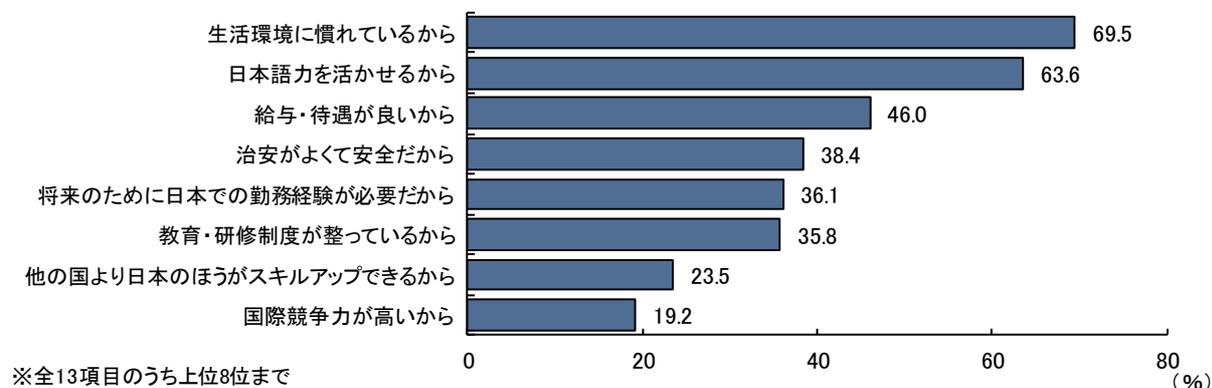


3. 日本での就職を希望する理由と不安に感じること

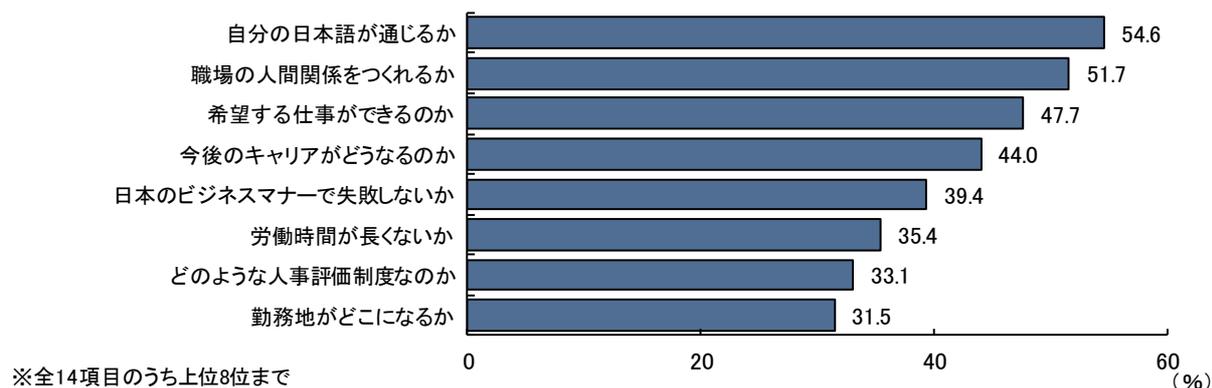
「日本で就職したい」と回答した人に、その理由と、日本での就職に対し不安に感じることを尋ねた。希望する理由で最も多いのは「生活環境に慣れているから」で、約7割が選んだ（69.5%）。「日本語力を活かせるから」が約6割で続く（63.6%）。

不安に感じることで最も多いのは「自分の日本語が通じるか」で過半数に上る（54.6%）。留学で培った日本語力を活かしたいと思う反面、ビジネスでの日本語に不安を感じているようだ。

日本での就職を希望する理由(上位8位まで)

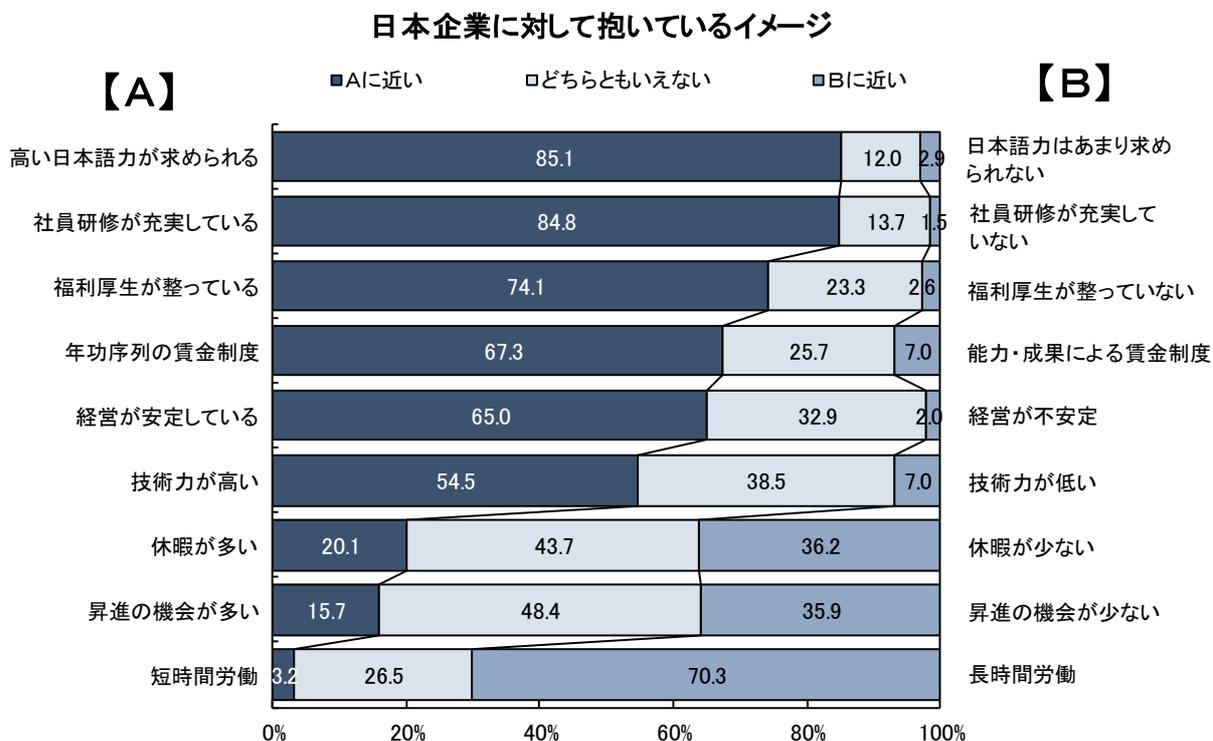


日本で就職する際に不安に感じること(上位8位まで)



4. 日本企業に対するイメージ

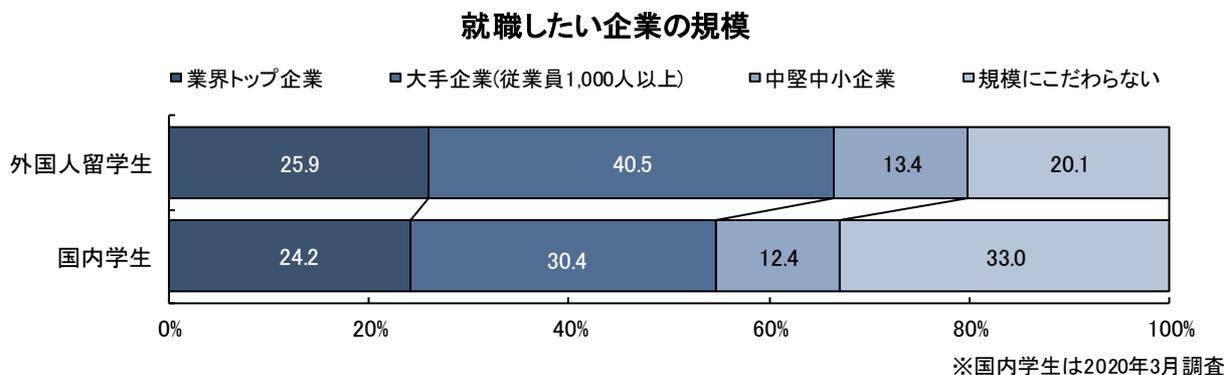
日本企業に対してのイメージを尋ねたところ、「高い日本語力が求められる」（85.1%）、「社員研修が充実している」（84.8%）、「福利厚生が整っている」（74.1%）、「長時間労働」（70.3%）などが多くのポイントを集めた。数字が割れる項目は少なく、外国人留学生が日本企業に対して持つイメージはある程度共通していることがわかる。



- 私は日本企業に対して、安定、待遇が良いというイメージを持っています。 <中国出身>
- 残業が多くて、ブラックなイメージが多いが、福利厚生は結構充実しています。 <マレーシア出身>
- 以前は「長時間労働」、現在は「多様な働き方がある」。 <中国出身>
- 日本には素晴らしい技術があるので、どんな仕事を任されても安心な気持ちがある。日本人の研修プログラムの効果が高いので良いイメージを持っている。 <スリランカ出身>
- 技術力が高いが、近年国際的な競争力が低下しているイメージも強い。英語ができる外国人材が欲しいという言葉がよく聞こえるが、英語を使える場面が少ない感じ。 <中国出身>
- 安定しているけど、外国人としてキャリアアップが難しそうです。 <中国出身>
- 私の母国では企業は即戦力になる人を採用するのがほとんどですが、日本の企業は新卒に高額なお金を投資して一から研修を行うイメージがあります。 <中国出身>
- 新卒にとって非常に優しく、専攻に関わらず業界を自由に選べるし、入社後も、多くの資源を費やして育ててもらえる。 <マレーシア出身>
- 人材教育に力を入れている。女性の出世のチャンスが少ない。 <中国出身>
- 高い日本語力が必要で、外国人が活躍できる環境が足りないです。 <中国出身>
- ダイバーシティの推進がまだまだ期待されます。 <中国出身>

5. 就職したい企業の規模と志望業界

就職したい企業の規模は、「業界トップ企業」（25.9%）と「大手企業」（40.5%）を合計すると6割を超える（計66.4%）。大手志向と言われる国内学生（日本人学生）よりもさらに10ポイント以上高く、外国人留学生の大手志向の強さが読み取れる。



続いて、志望業界を40業界の中から5つまで選んでもらった。文系では1位が「商社（総合）」（39.9%）で、グローバルに活躍できる業界として毎年人気だ。2位は「情報・インターネットサービス」（29.5%）、僅差で3位に「情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト」（28.7%）が続く。理系は、1位「情報・インターネットサービス」（37.0%）、2位「情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト」（33.3%）と続き、文理問わず、IT業界の人気の高さがうかがえる。

なお、国内学生と比較すると、特に文系において志望業界の違いが顕著に表れている。国内学生で1位の「銀行」、3位の「マスコミ」はともに9位にとどまった。

就職活動当初の志望業界(上位10業界)

※40業界の中から5つまで選択（%）

| 文 系 | | | | 理 系 | | | | | | | |
|--------|--------------------|------|----|--------------------|------|------|--------------------|------|----|--------------------|------|
| 外国人留学生 | | 国内学生 | | 外国人留学生 | | 国内学生 | | | | | |
| 1 | 商社（総合） | 39.9 | 1 | 銀行 | 20.3 | 1 | 情報・インターネットサービス | 37.0 | 1 | 情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト | 23.5 |
| 2 | 情報・インターネットサービス | 29.5 | 2 | 情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト | 16.0 | 2 | 情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト | 33.3 | 2 | 電子・電機 | 21.5 |
| 3 | 情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト | 28.7 | 3 | マスコミ | 15.8 | 3 | 医薬品・医療関連・化粧品 | 30.9 | 3 | 情報・インターネットサービス | 20.8 |
| 4 | 商社（専門） | 22.9 | 4 | 情報・インターネットサービス | 15.4 | 4 | 素材・化学 | 23.5 | 4 | 水産・食品 | 20.8 |
| 5 | 調査・コンサルタント | 21.3 | 5 | 商社（総合） | 14.8 | 5 | 電子・電機 | 18.5 | 5 | 医薬品・医療関連・化粧品 | 19.8 |
| 6 | ホテル・旅行 | 17.8 | 6 | 水産・食品 | 13.8 | 6 | 建設・住宅・不動産 | 16.0 | 6 | 素材・化学 | 19.8 |
| 7 | 人材ビジネス・人材紹介・人材派遣 | 16.7 | 7 | 建設・住宅・不動産 | 13.5 | 7 | 調査・コンサルタント | 13.6 | 7 | 自動車・輸送用機器 | 15.8 |
| 8 | 医薬品・医療関連・化粧品 | 16.3 | 8 | 官公庁・団体 | 13.4 | 8 | 自動車・輸送用機器 | 13.6 | 8 | 精密機器・医療用機器 | 15.4 |
| 9 | 電子・電機 | 11.2 | 9 | 調査・コンサルタント | 13.2 | 9 | 精密機器・医療用機器 | 12.3 | 9 | 建設・住宅・不動産 | 12.9 |
| 10 | 銀行 | 11.2 | 10 | 運輸・倉庫 | 12.6 | 10 | 水産・食品 | 12.3 | 10 | 機械・プラントエンジニアリング | 12.5 |
| | マスコミ | 11.2 | | | | | | | | | |

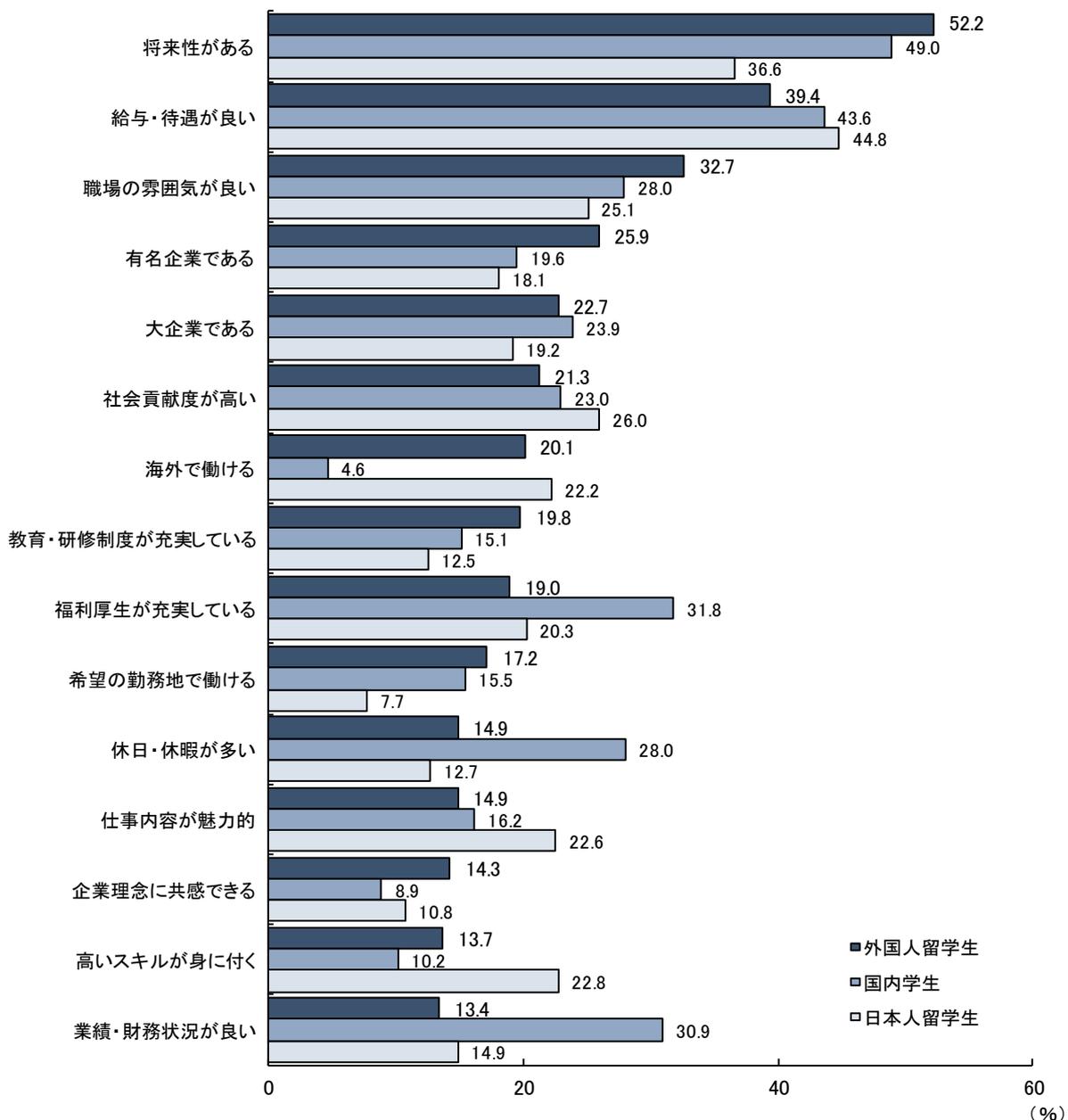
※国内学生は3月調査

6. 就職先企業を選ぶ際に重視する点

外国人留学生が就職先を選ぶ際に重視する点は、「将来性がある」が最も多く、半数強が選んだ（52.2%）。2位に「給与・待遇が良い」（39.4%）、3位に「職場の雰囲気が良い」（32.7%）が続く。上位2項目は、国内学生と同じ並びだが、外国人留学生の方が将来性重視の傾向が強い。

「福利厚生が充実している」「休日・休暇が多い」などの働きやすさに関する項目は、国内学生ではそれぞれ3割前後と高いのに対し（31.8%、28.0%）、外国人留学生では1割台にとどまっており（19.0%、14.9%）、国内学生ほど関心は高くないようだ。

就職先企業を選ぶ際に重視する点(上位15位まで)



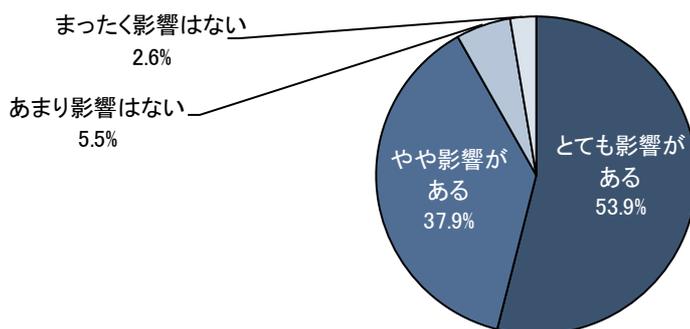
※全30項目のうち外国人留学生の上位15位まで

※国内学生は2020年1月調査

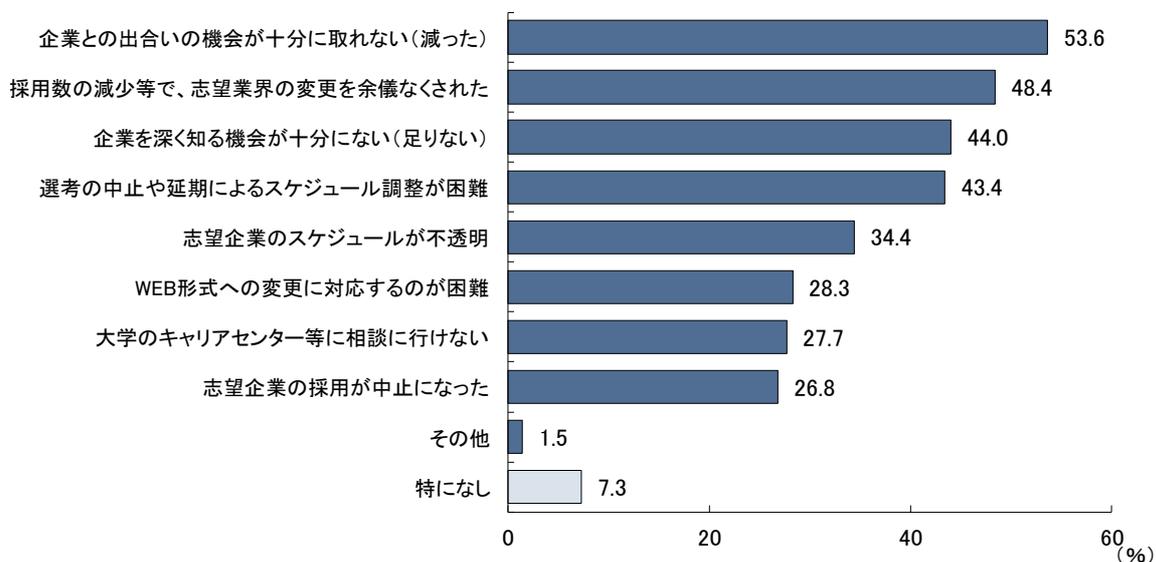
7. 新型コロナによる就職活動への影響

新型コロナウイルスの感染拡大によって、自身の就職活動に影響を受けたと思うか否かを尋ねた。「とても影響がある」という回答が半数を超え（53.9%）、「やや影響がある」（37.9%）を合わせると9割を超える（計91.8%）。具体的な影響として最も多いのは、「企業との出合いの機会が十分に取れない（減った）」（53.6%）。次いで、「採用数の減少等で、志望業界の変更を余儀なくされた」（48.4%）が続く。また、「志望企業の採用が中止になった」は4人に1人以上が選んだ（26.8%）。ホテル・旅行など外国人留学生に人気の高い業界とコロナの影響を大きく受けた業界とが重なったことで、志望業界や企業の変更を迫られた人も少なくない。

新型コロナウイルス感染拡大による就職活動への影響



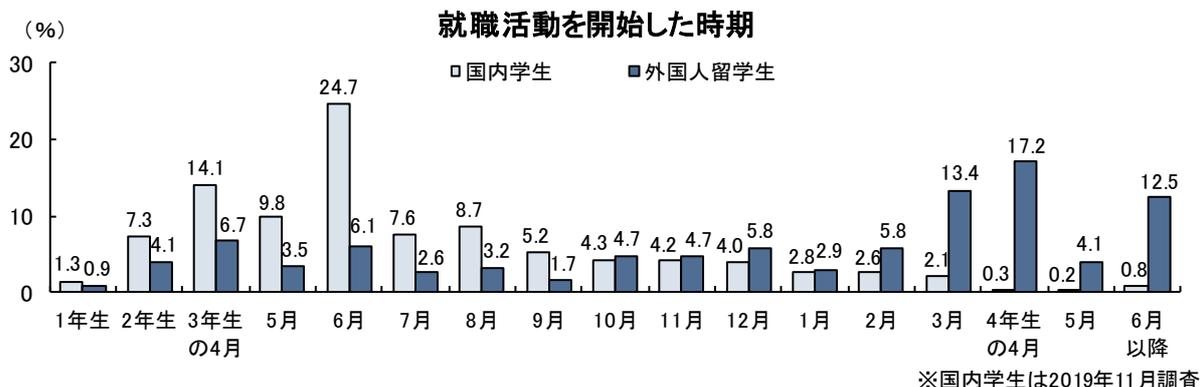
新型コロナによる就職活動への具体的な影響



- 学内の留学生向け合同企業説明会はコロナの影響で中止されました。留学生を積極的に採用する企業に出会う機会がなくなりました。 <中国出身>
- 外国人向けの採用が少なく、学校のキャリアサポートセンターにも行けない状態では就職活動が困難です。 <中国出身>
- いくつか行きたかった中小企業が新卒採用しなくなった。 <中国出身>
- 自分の語学力が活かせる旅行、空港、航空業界が採用をほとんどやめてしまい、業界研究を改めてしなければならなかった。また、説明会の中止で、社員と話せるチャンスもなくなり、会社について理解が足りない。 <韓国出身>
- コロナの影響で採用中止している企業もたくさんあって、採用はする企業でも、選考が延期になったり、日程変更が頻繁にあったりして、スケジュール調整や管理がとても難しかった。 <マレーシア出身>

8. 就職活動開始時期

外国人留学生が就職活動を開始した時期は、「4年生の4月」（17.2%）が最多で、次いで「3年生の3月」（13.4%）が多い。採用広報解禁（3月）以降を合わせると約半数（計47.2%）。「6月以降」も1割超あり（12.5%）、新型コロナの影響で開始が遅れた留学生もいるようだ。一方、国内学生では「3年生の6月」が最も多く（24.7%）、3月より前の合計が9割を超えている（計96.6%）。国内学生に比べると、外国人留学生の動き出しは遅いことがわかる。



9. 就職活動量

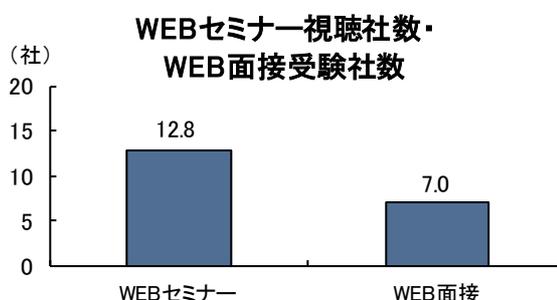
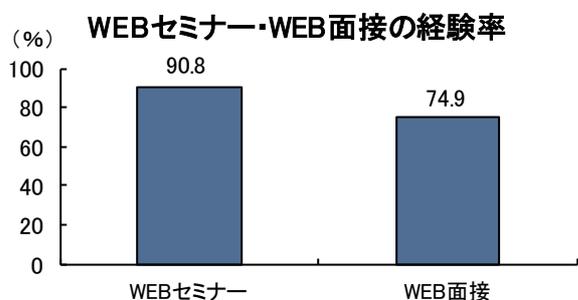
調査時点（7月）でのエントリー社数は、平均22.5社。同時期の国内学生（29.2社）より、6.7社少ない。しかしながら、エントリーシート提出社数、筆記・WEB試験の社数は国内学生をやや上回る。志望企業を絞った上で精力的に活動している様子が見える。

今年は新型コロナの影響で就職活動のオンライン化が進んだが、WEBセミナー経験率は9割（90.8%）、視聴社数は平均12.8社に上る。WEB面接の経験率は7割超（74.9%）、受験社数は平均7.0社で、外国人留学生の就職活動もオンライン中心に進んだことが読み取れる。

就職活動の社数

| | (社) | | | | |
|--------------------|------|------|------|------|--------|
| | 全体 | (前年) | 文系 | 理系 | 【国内学生】 |
| エントリー社数 | 22.5 | 22.2 | 23.2 | 20.1 | 29.2 |
| 企業セミナーの参加社数（リアル） | 7.1 | 10.0 | 6.9 | 7.6 | 8.3 |
| 企業セミナーの参加社数（オンライン） | 12.8 | | 13.6 | 10.4 | 14.1 |
| エントリーシート提出社数 | 17.9 | 17.7 | 18.4 | 16.0 | 15.5 |
| 筆記・WEB試験の社数 | 13.5 | 11.1 | 13.6 | 13.2 | 10.7 |
| 面接試験の社数（WEB面接含む） | 8.1 | 7.5 | 8.3 | 7.4 | 8.4 |

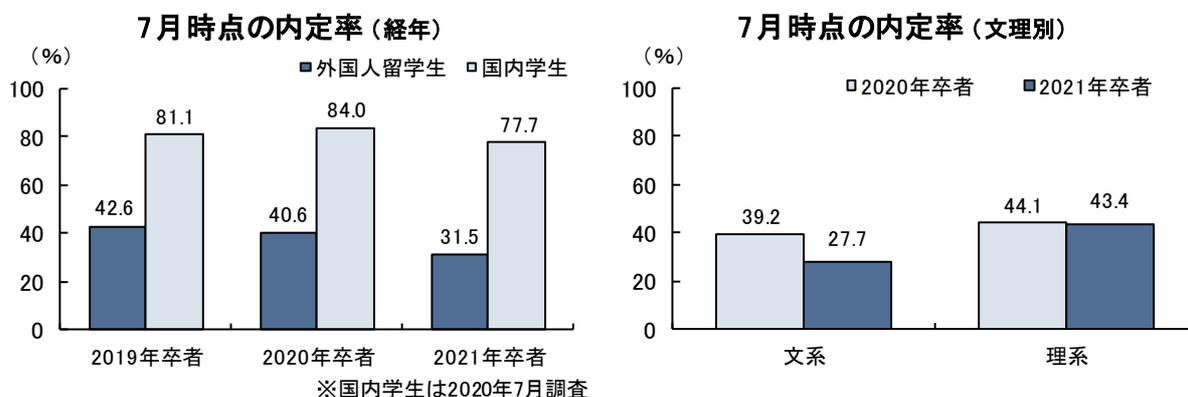
※国内学生は7月調査



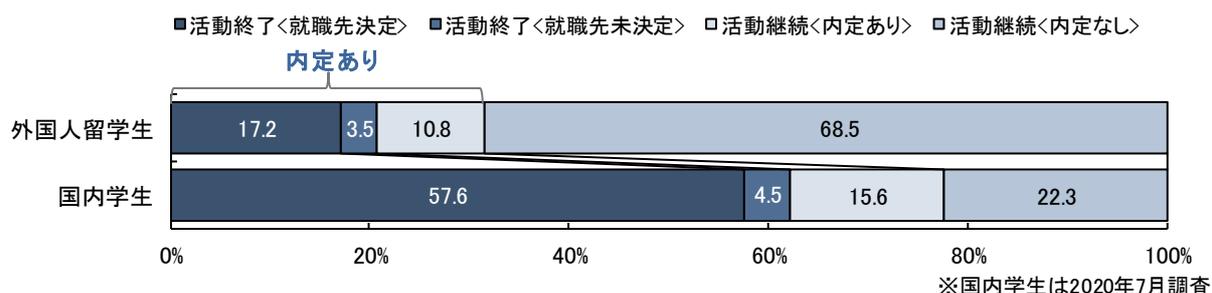
- WEBで面接を行うと、企業の雰囲気がわからないし、自分のことをしっかり伝えることが難しくなりました。
＜中国出身＞
- オンライン面接は、普通より難しいと思います。
＜フィリピン出身＞
- WEB説明会とWEB面接に変更した会社があいづつありましたが、悪い影響だけではなく、逆に家で就活するのが楽でした。
＜中国出身＞

10. 7月時点の内定状況

7月時点の内定率は国内学生が7割超（77.7%）であるのに対し、外国人留学生は約3割にとどまる（31.5%）。前年同時期（40.6%）と比べても10ポイント近く低下。内定取得者も含めると、就職活動継続者は全体の約8割に上り（計79.3%）、国内学生（計37.9%）の2倍近い。コロナの影響や、就職活動の動き出しの遅さによる進捗の遅れが目立つ。



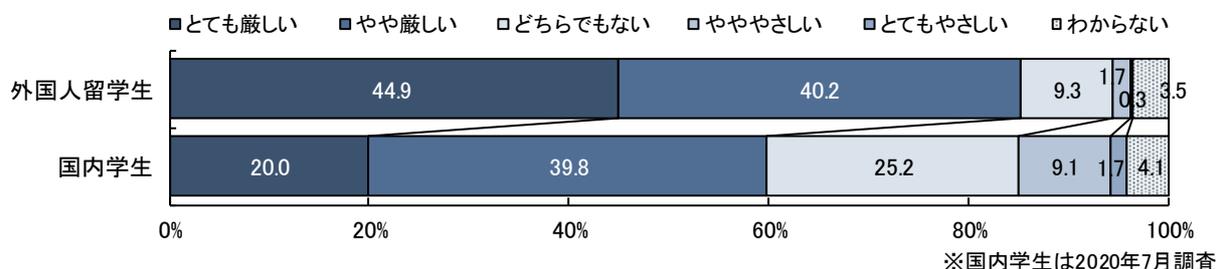
7月時点の就職活動状況



11. 就職活動の難易度

自身の就職活動の難易度を尋ねたところ、「とても厳しい」（44.9%）と「やや厳しい」（40.2%）を合わせて8割強が「厳しい」と回答（計85.1%）。一方、国内学生では「厳しい」は約6割（計59.8%）。両者には顕著な差が見られ、大半の外国人留学生にとってかなり厳しい就職戦線であることが表れている。

就職活動の難易度



- コロナによる採用中止の連絡が多く、企業から来ていますが、もうエントリーの時期はすぎてどうしようもないです。 <中国出身>
- 会社に入るには、日本語力だけでなく、協調性やコミュニケーション能力、会社に対する熱意など様々なことが求められていますので、厳しいと思います。 <中国出身>
- 留学生にとって、WEBテストが難しい。 <中国出身>

12. 企業に評価してもらいたいこと

企業に評価してもらいたいことを尋ねたところ、外国人留学生の1位は「コミュニケーション能力」(57.4%)。次いで、2位「語学力」(39.1%)、3位「異文化対応力」(33.5%)と続く。留学経験を通じて向上させた能力を評価してもらいたいと考える留学生が多いことがうかがえる。

一方、国内学生が評価してもらいたいこととしては、「コミュニケーション能力」の他に「協調性」「信頼性」などが上位に来ている。組織の中で円滑に業務を遂行できる能力をアピールしたいようだ。

企業に評価してもらいたいこと(上位10位まで)

| 外国人留学生 | | 国内学生 | | 日本人留学生 | |
|--------|------------------|------|------------------|--------|------------------|
| 1 | コミュニケーション能力 57.4 | 1 | コミュニケーション能力 47.5 | 1 | コミュニケーション能力 51.3 |
| 2 | 語学力 39.1 | 2 | 協調性 42.6 | 2 | 異文化対応力 36.6 |
| 3 | 異文化対応力 33.5 | 3 | 信頼性 28.0 | 3 | 協調性 33.0 |
| 4 | 熱意 33.2 | 4 | 熱意 27.1 | 4 | 社交性 30.8 |
| 5 | 基礎学力 32.9 | 5 | 社交性 26.5 | 5 | 語学力 30.5 |
| 6 | 協調性 27.4 | 6 | 明るさ 25.7 | 6 | 信頼性 22.9 |
| 7 | 専門知識 26.2 | 7 | 基礎学力 25.4 | 7 | 基礎学力 21.7 |
| 8 | 社交性 23.3 | 8 | 身だしなみ・マナー 22.3 | 8 | リーダーシップ 21.5 |
| 9 | 明るさ 20.7 | 9 | 一般常識 20.1 | 9 | 明るさ 20.3 |
| 10 | 信頼性 19.0 | 10 | 専門知識 15.1 | 10 | 熱意 19.2 |

※全24項目のうち上位10位まで

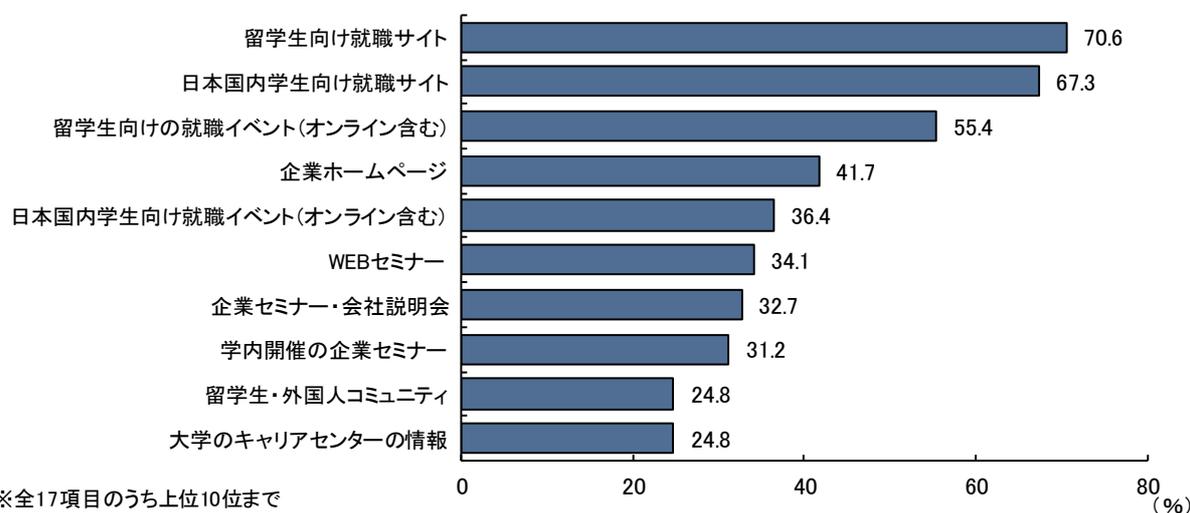
※国内学生は3月調査

13. 就職活動の情報源

外国人留学生が活用している情報源について尋ね、上位項目をグラフにまとめた。最も多いのは「留学生向け就職サイト」(70.6%)。「日本国内学生向け就職サイト」(67.3%)がこれに続き、就職サイトの情報を広く活用していることがわかる。

「留学生向けの就職イベント」(55.4%)、「日本国内学生向け就職イベント」(36.4%)など、オンラインを含めた就職イベントで情報収集をする留学生も少なくない。

就職活動の情報源(上位10位まで)



※全17項目のうち上位10位まで

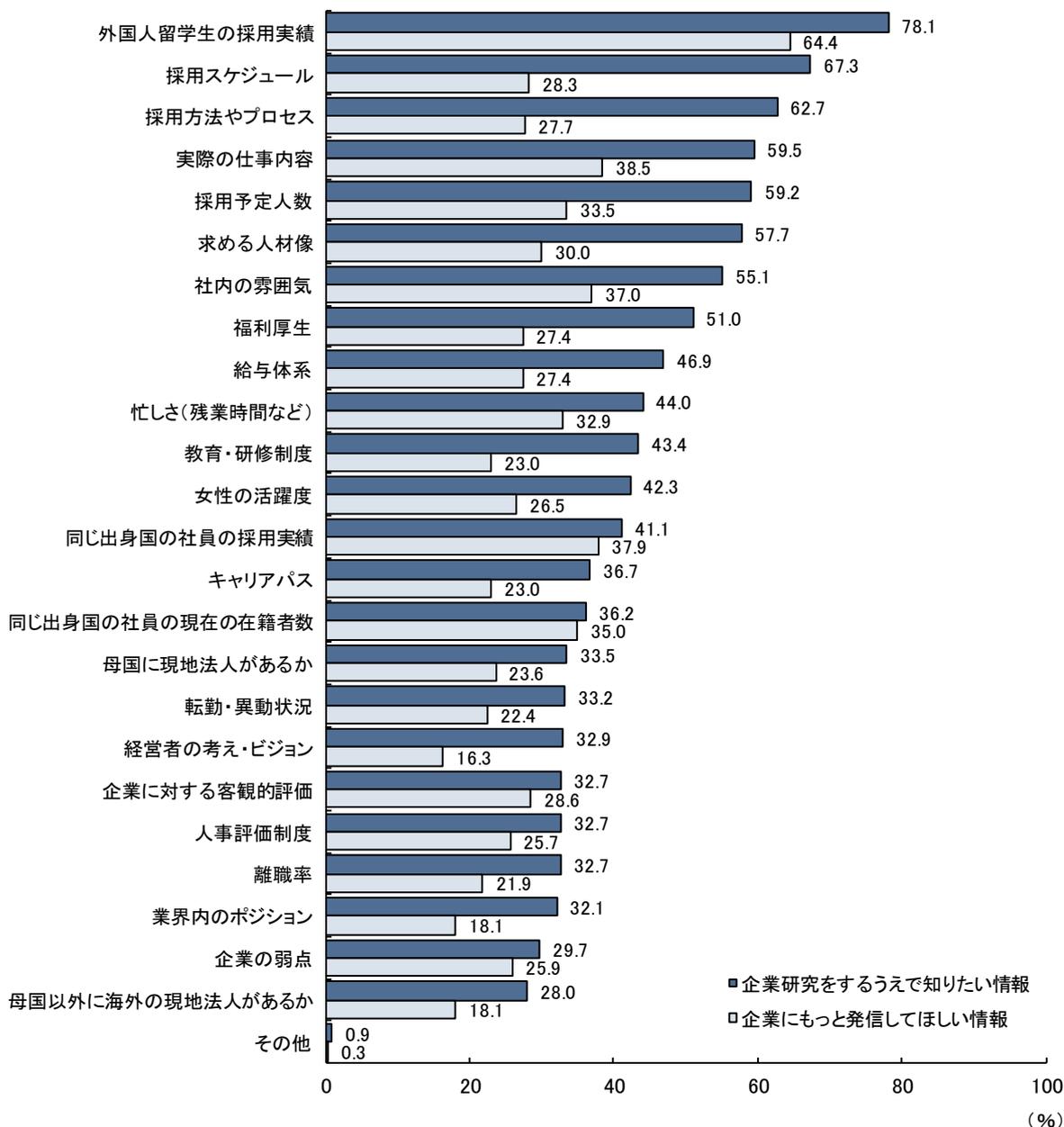
14. 企業研究をする上で必要な情報／もっと発信してほしい情報

「企業研究をする上で必要な情報」と「企業にもっと発信してほしい情報」について尋ねた。

まず、企業研究をする上で知りたい情報は「外国人留学生の採用実績」が最も多く、8割近くに上る（78.1%）。加えて、「採用スケジュール」（67.3%）、「採用方法やプロセス」（62.7%）といった基礎的な採用情報にも関心が集まった。今年は特にコロナの影響で選考時期の変更も多く、情報を求める留学生も多かったと見られる。

企業にもっと発信してほしい情報も、「外国人留学生の採用実績」が6割強で最も多い（64.4%）。「採用スケジュール」「採用方法やプロセス」などの採用情報の数値は大きく下がり、企業側が十分に情報発信している様子がうかがえる。「同じ出身国の社員の採用実績」、「同じ出身国の社員の現在の在籍者数」も3割強に上るなど（37.9%、35.0%）、外国人採用にまつわる情報の積極的な開示を企業に求めていることがわかる。

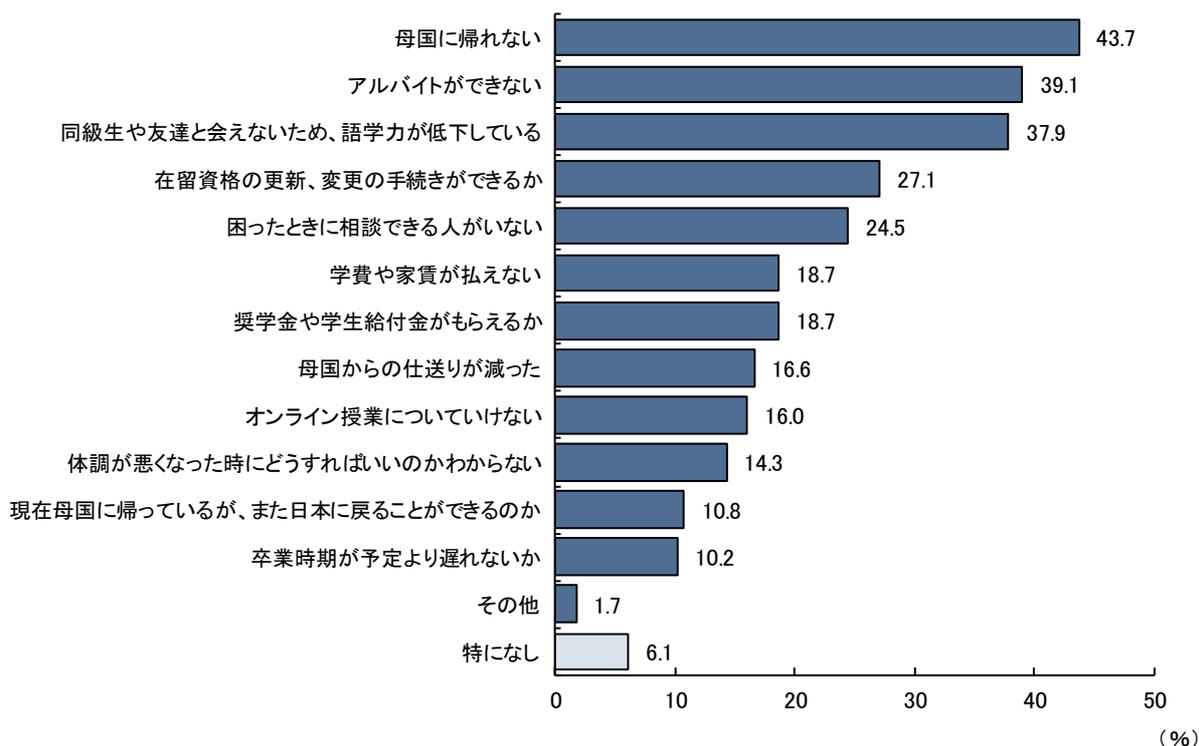
企業研究での情報



【参考】新型コロナによる留学生活への影響

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、留学生活全般について、困っていることや不安に思うことを尋ねた。最も多いのは「母国に帰れない」で4割強（43.7%）。感染リスクに加え、再入国できなくなることへの懸念などから、母国に帰省したくてもできない留学生が多いようだ。次に多いのは「アルバイトができない」（39.1%）。他にも「学費や家賃が払えない」「奨学金や学生給付金がもらえるか」「母国からの仕送りが減った」などの項目も一定数が選んでおり、経済的困窮を訴える声も少なくない。

新型コロナの影響で就職活動以外に困っていること、不安に思っていること



- アルバイト先が休業になり、働けなく、学費や生活費が心配です。 <ベトナム出身>
- 両親からの仕送りが減りましたし、アルバイトもできません。 <中国出身>
- 今、修士論文を書くことが重要だけど、図書館も利用できない。このままいけば、卒業延期かもしれない。 <中国出身>
- 今まで約5カ月家にこもっています。日本人とのコミュニケーションが取れなくて、語学力が低下しています。 <中国出身>
- 外出することができないため、自宅で長くいると心理的によくないです。よく落ち込んでいて、悩みが増えたと感じました。 <中国出身>
- 将来のキャリアプランについて、家族としっかりと話したいのですが、帰国できない状態なので、難しいです。 <台湾出身>
- 就職先が決まらないまま卒業した後、在留期間を伸ばすためにどうすればいいのかわからないです。 <マレーシア出身>